

デュアルタイムリピーター 操作ガイド

- ▶時計の見方 ▶時刻合わせ ▶カレンダー合わせ ▶通常表示 ▶アラーム合わせ ▶秒修正 ▶基準位置の確認と合わせ方

「基準位置の確認と合わせ方」は基本時刻やカレンダーの各表示にずれがある場合、通常の調整がうまくいかない場合のみ行ってください。

時計の見方



この時計は時差が生じる時刻を同時に表示する「デュアルタイム」、3通りのアラーム設定ができる「アラーム」、現時刻を音で知らせる「ミニッツリピーター」、2100年まで自動修正する「バーベデュアルカレンダー」の4つの機能を搭載しています。

[このページのトップへ▲](#)

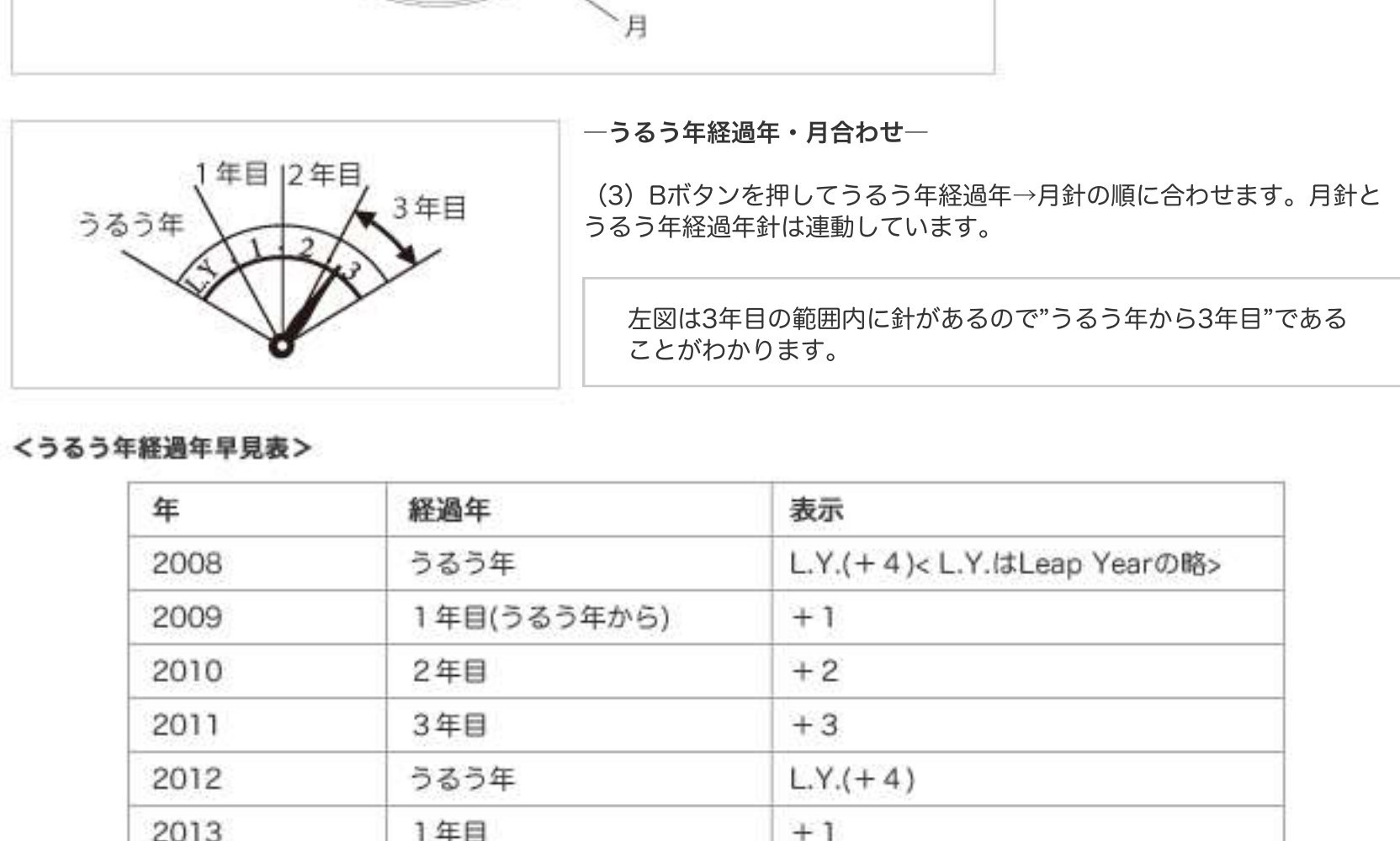
時刻合わせ

＜注意＞基本時計の時刻合わせを行った後は、必ず、副時計の時刻を基本時計の時刻に合わせ直してください。これが合っていないと時刻報知音やアラームが正しく報時しません。



[このページのトップへ▲](#)

カレンダーの合わせ方



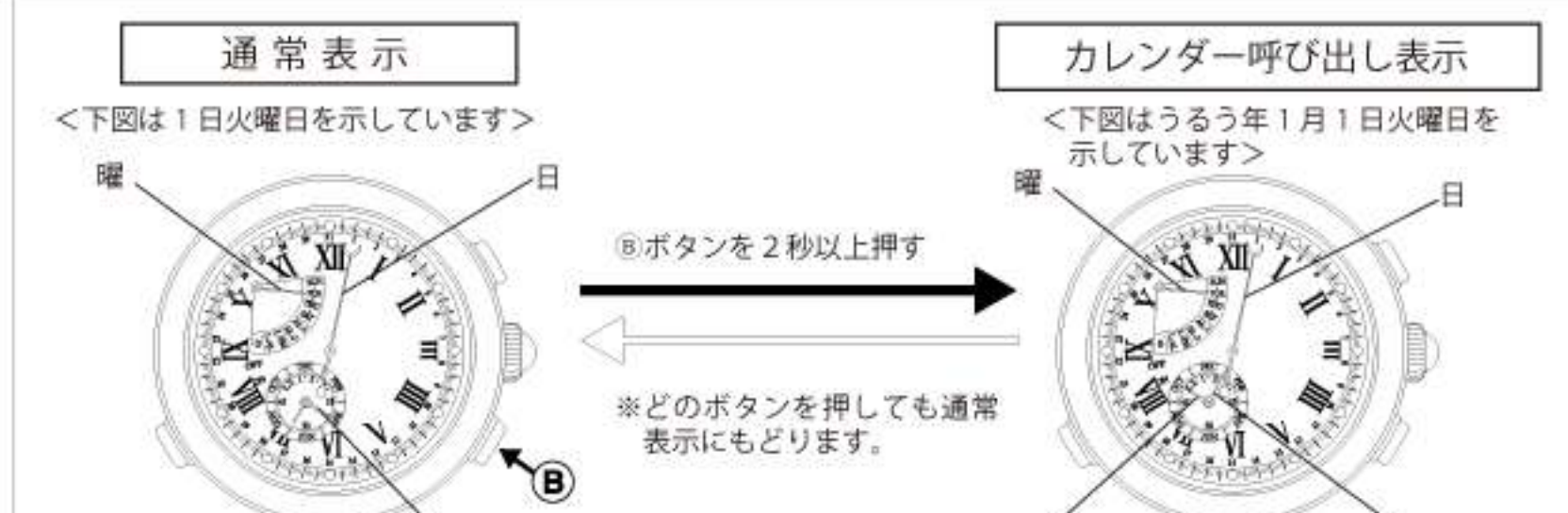
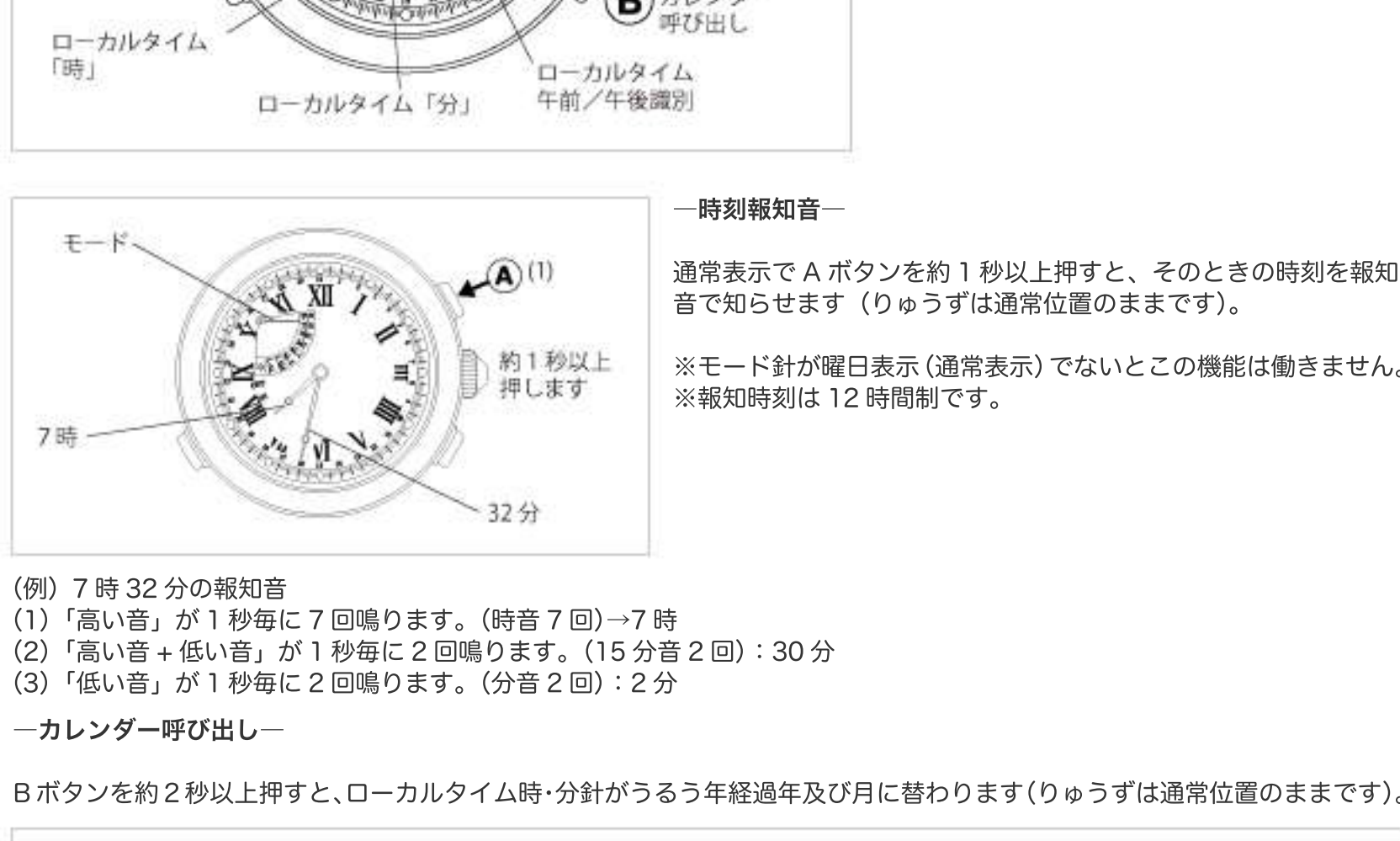
＜うるう年経過年早見表＞

年	経過年	表示
2008	うるう年	L.Y.(+4) < L.Y.はLeap Yearの略 >
2009	1年目(うるう年から)	+1
2010	2年目	+2
2011	3年目	+3
2012	うるう年	L.Y.(+4)
2013	1年目	+1
2014	2年目	+2
2015	3年目	+3



[このページのトップへ▲](#)

通常表示



[このページのトップへ▲](#)

アラームの合わせ方



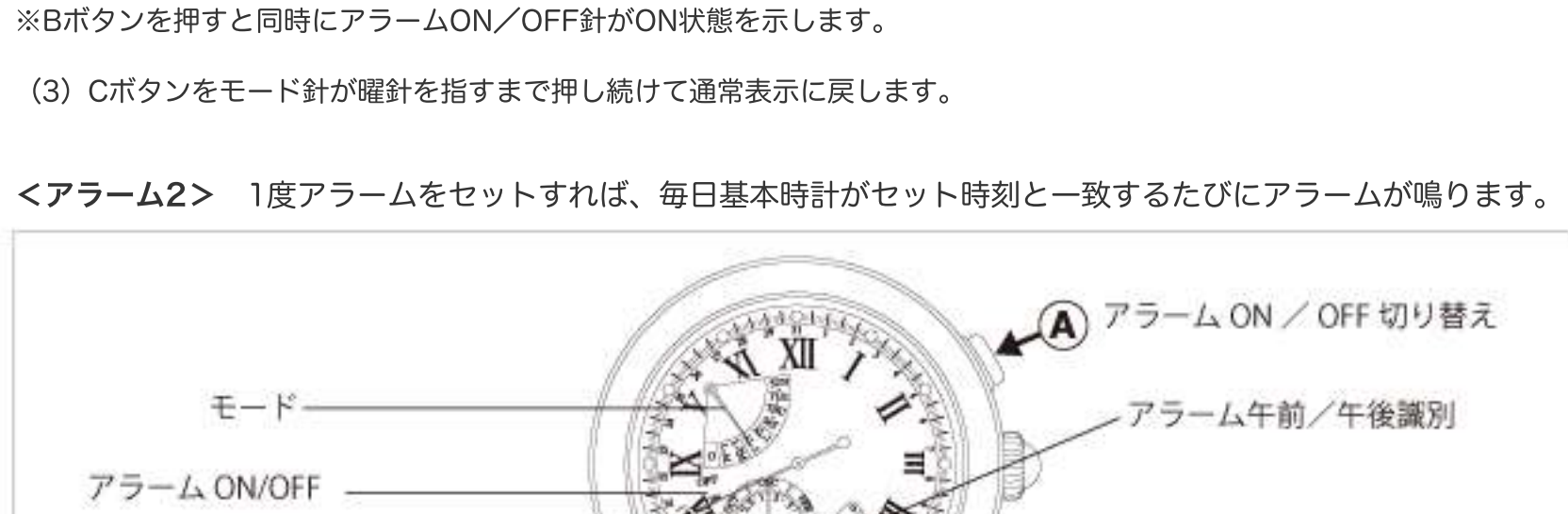
(例) 今日の午後 4 時 00 分にアラームが鳴るようにしたい

(1) Cボタンを押してモード針をAL-1に合わせます (りゅうずは通常位置のままです)。

(2) Bボタンを押してアラームセット時・分針を午後4時00分に合わせます。このとき午前/午後識別針が午後になっていることを確認して下さい。

※Bボタンを押すと同時にアラームON/OFF針がON状態を示します。

(3) Cボタンをモード針が曜針を指すまで押し続けて通常表示に戻します。



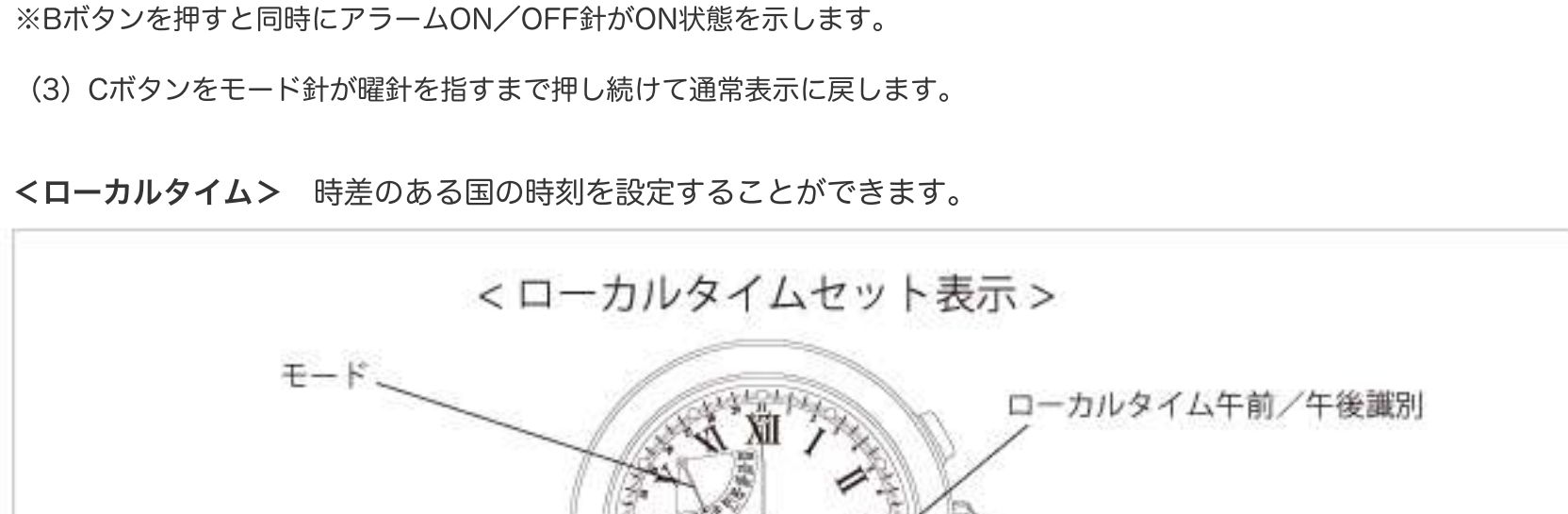
(例) 毎日午前 6 時 00 分にアラームが鳴るようにしたい

(1) Cボタンを押してモード針をAL-2に合わせます (りゅうずは通常位置のままです)。

(2) Bボタンを押してアラームセット時分針をセットしたい時刻に合わせます。このとき午前/午後識別針が午前を示していることを確認して下さい。

※Bボタンを押すと同時にアラームON/OFF針がON状態を示します。

(3) Cボタンをモード針が曜針を指すまで押し続けて通常表示に戻します。



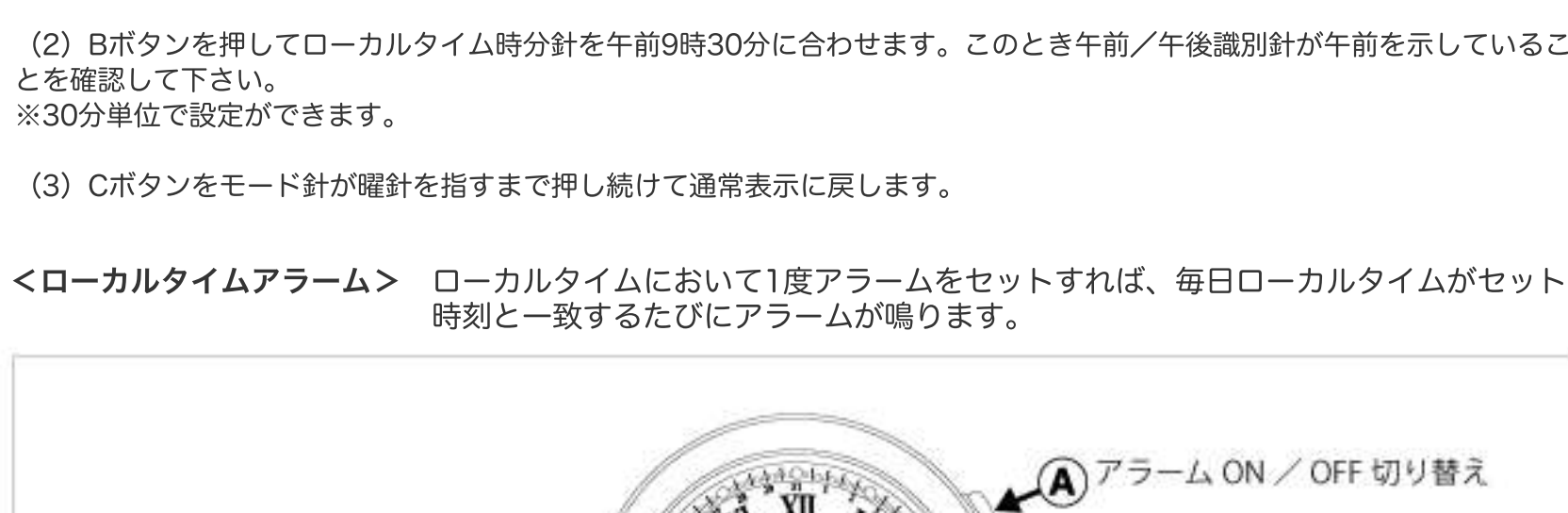
(例) 基本時計が東京の現在時刻午後 5 時 30 分のとき、ローカルタイムをパリの現在時刻 午前 9 時 30 分に合わせたい

(1) Cボタンを押してモード針をL-TMに合わせます (りゅうずは通常位置のままです)。

(2) Bボタンを押してローカルタイム時分針を午前9時30分に合わせます。このとき午前/午後識別針が午前を示していることを確認して下さい。

※30分単位で設定ができます。

(3) Cボタンをモード針が曜針を指すまで押し続けて通常表示に戻します。



(例) パリ時間午前 10 時 00 分にアラームが鳴るようにセットしたい

(1) Cボタンを押してモード針をL-ALに合わせます (りゅうずは通常位置のままです)。

(2) Bボタンを押してアラームセット時分針を午前10時00分に合わせます。このとき午前/午後識別針が午前を示していることを確認して下さい。

※Bボタンを押すと同時にアラームON/OFF針がON状態を示します。

(3) Cボタンをモード針が曜針を指すまで押し続けて通常表示に戻します。

※Bボタンは1回押すごとに1分進み、押し続ければ早送りします。

※すべてのモードは約1分間放置すると自動的に通常表示に戻ります。

アラームの鳴り方について

各モードによって鳴り方が異なります。

アラーム1・・・約10秒間鳴ります。

アラーム2・・・アラームセット時間の時間帯によりそれぞれ鳴る音が異なります。

・朝 4:00～11:59 (約14秒間鳴ります)

・昼 12:00～17:59 (約15秒間鳴ります)

・夜 18:00～3:59 (約16秒間鳴ります)

ローカルタイムアラーム・・・約16秒間鳴ります。

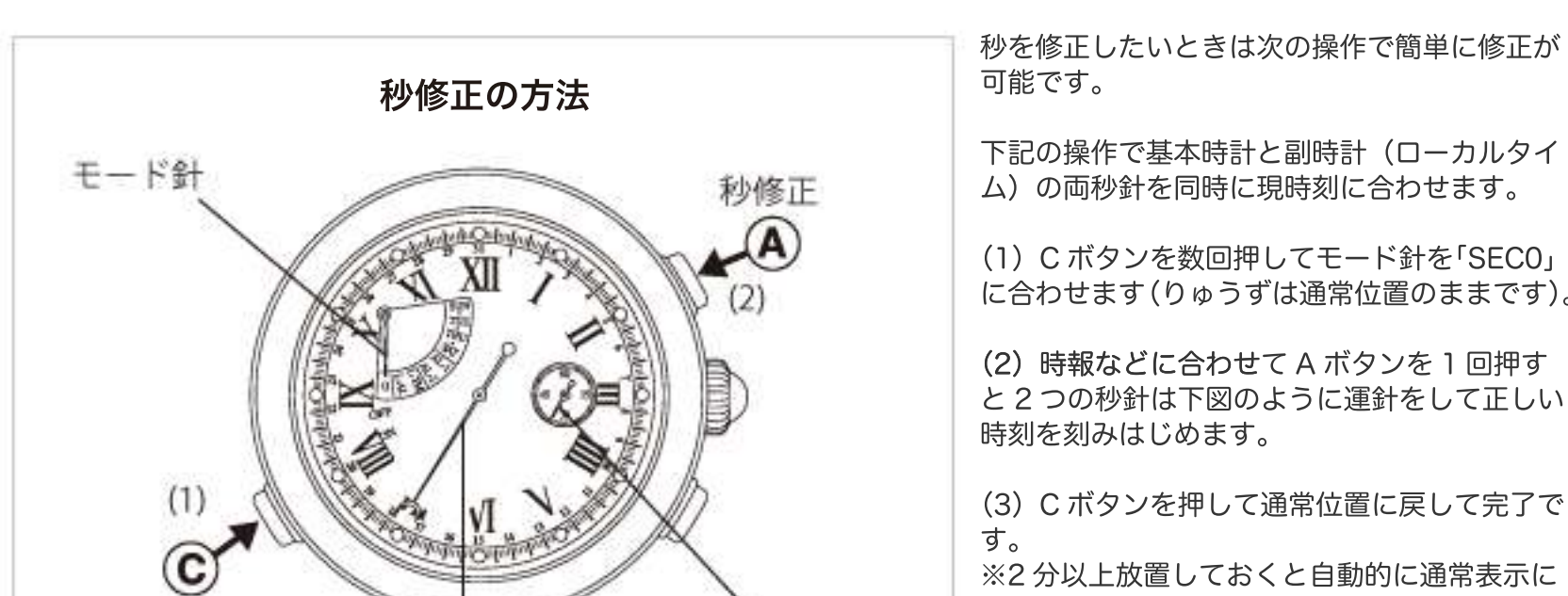
※アラームを途中で止めたい時には、A・B・Cどのボタンを押しても止まりません。

アラームをキャンセルしたいとき

Cボタンを押してモード針をキャンセルしたいモードの位置に合わせた状態でAボタンを押すとアラームONからOFFに切り替わります。

[このページのトップへ▲](#)

秒修正



秒を修正したいときは次の操作で簡単に修正が可能です。

下記の操作で基本時計と副時計 (ローカルタイム) の両秒針を同時に現時刻に合わせます。

(1) C ボタンを数回押してモード針を「SEC0」に合わせます (りゅうずは通常位置のままです)。

(2) 時報などに合わせて A ボタンを 1 回押すと 2 つの秒針は下図のように連針をして正しい時刻を刻みはじめます。

(3) C ボタンを押して通常位置に戻して完了です。

※2分以上放置しておくとも自動的に通常表示に戻ります。

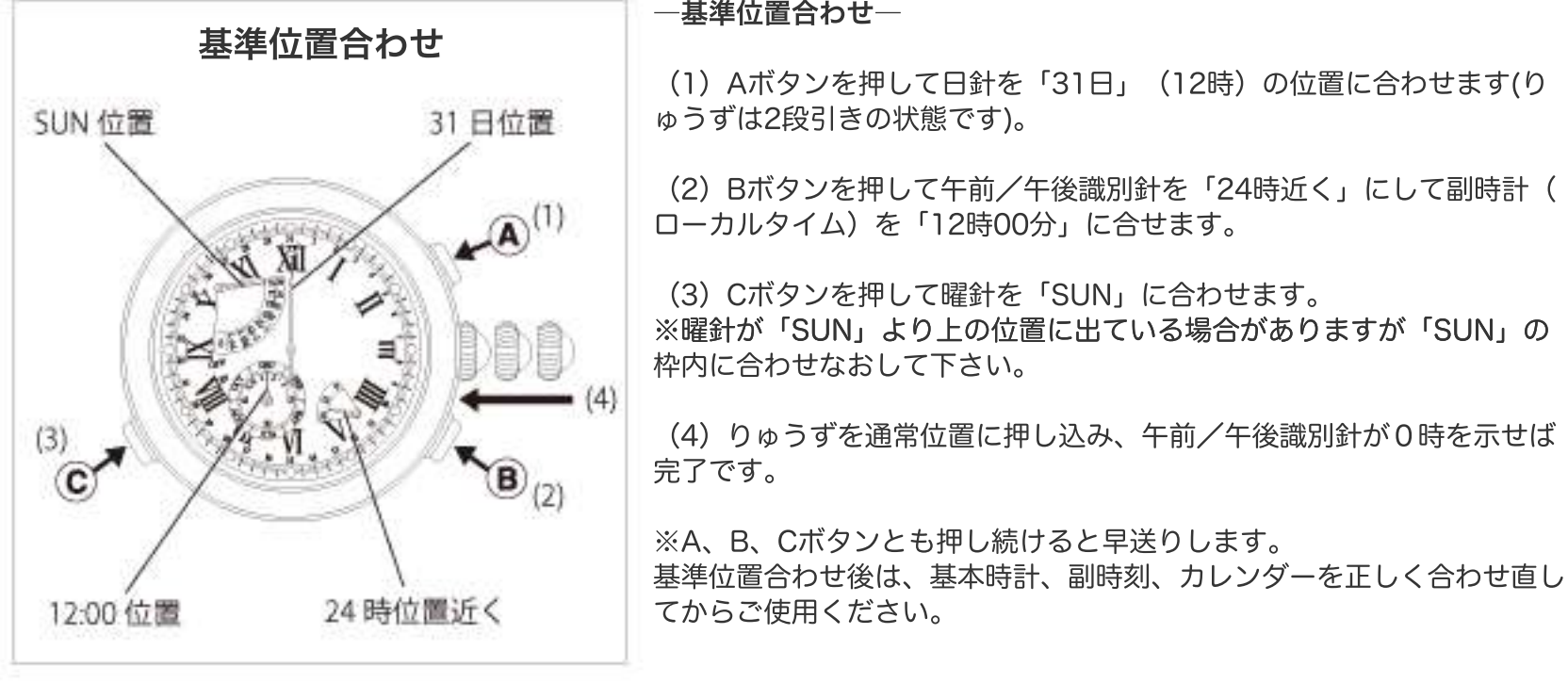
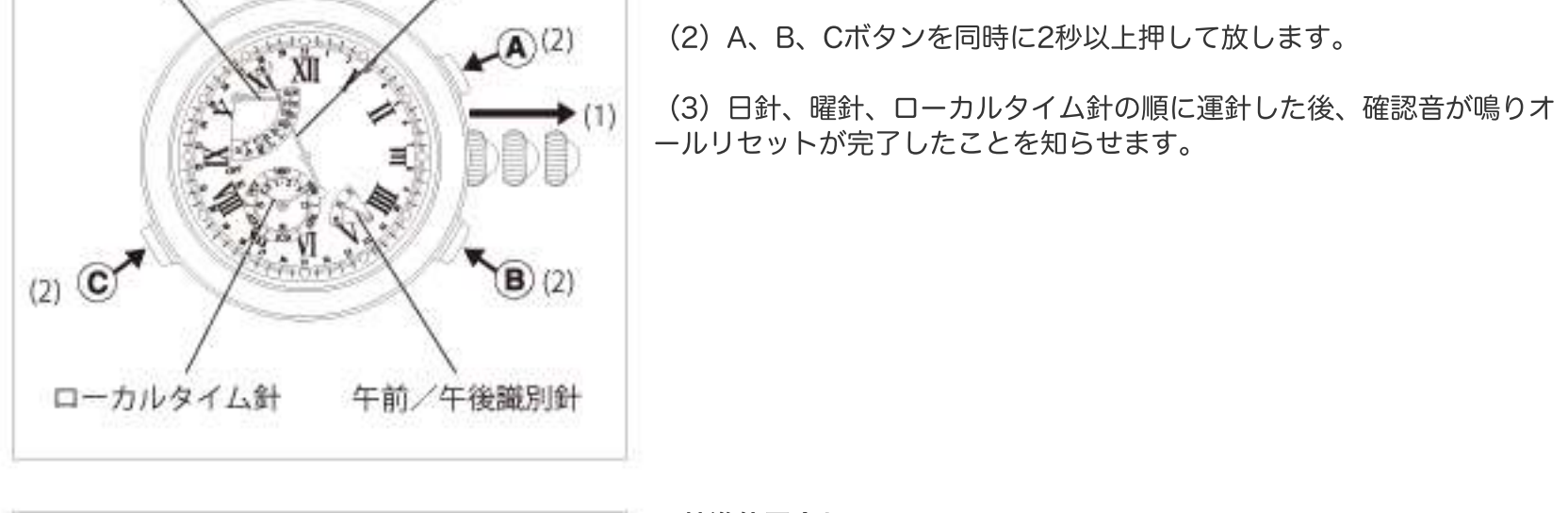
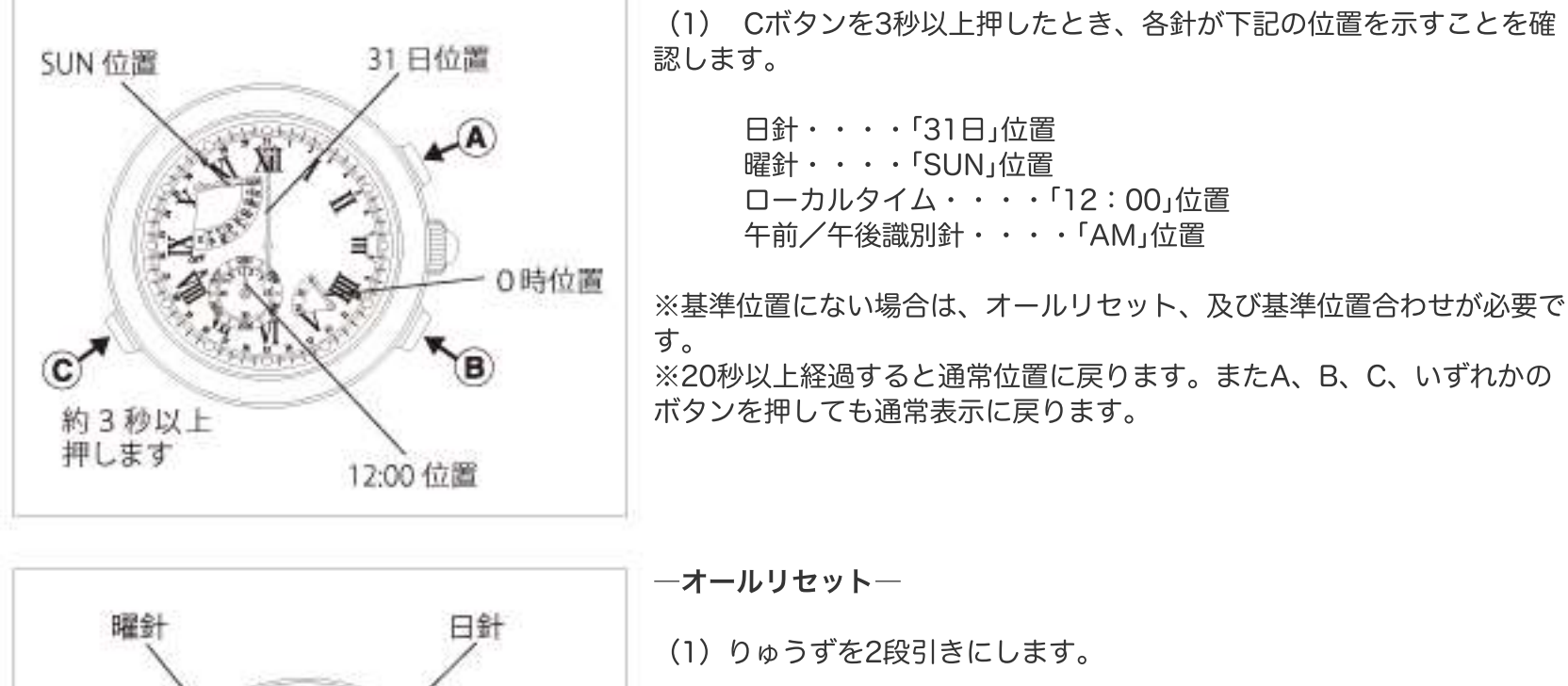
修正時の秒針位置	
秒 針 (基本時計)	秒 針 (副時計)
<p>0秒～29秒</p> <p>・秒針は停止する。副時計の秒針が、停止している秒針の位置まで進ると、再び同時に連針しはじめる。</p>	<p>・秒針は0秒位置に帰零され、再び連針をはじめる。</p>
<p>30秒～59秒</p> <p>・秒針は0秒位置に帰零され、再び連針をはじめる。このとき基本時計の分針も1分進められる。</p>	<p>・秒針は0秒位置に帰零され、再び連針をはじめる。このとき副時計の分針も1分進められる。</p>

[このページのトップへ▲](#)

基準位置の確認と合わせ方

時計が正しく作動しない場合には基準位置の確認を行い、合っていない場合はオールリセットを行ったあと、各針の基準位置合わせを行ってください。電池交換後もオールリセット、基準位置合わせが必要です。

※オールリセット後、基準位置合わせを行わないままりゅうずを押し込むと、日針が逆回りし、基準位置合わせが未完了であることをお知らせします。



[このページのトップへ▲](#)